

いきいき うらかわ

教育の拠点として、地域に愛された野深小が閉校

27年の歴史に幕 野深小学校閉校式

11月16日、来年の3月をもって荻伏小学校と統合する野深小学校で、閉校式と思い出を語る会が開かれ、在校生や卒業生、関係者など約150人が参加しました。

野深小学校は昭和63年に旧野深小学校と第二野深小学校が統合して新設。スケート学習やポニーの飼育など、小規模校ならではの特色ある教育活動を地域とともに実践し、「全道へき地・複式学級研究大会」の公開授業校になるなど、広く研究成果を発信してきました。



全校児童で「少年時代」「勇気 100%」を合唱



タイムカプセルも開封されました

野深小での思い出が詰まったアルバムに見入る参加者



閉校式では、池田町長らの式辞に続き、児童会長の村下萌香さんが「荻伏小に行っても元気に学校生活を送ります」と別れの言葉を述べ、全校児童が今までの感謝の気持ちを込めて合唱。最後に土井宗太郎教育委員長に校旗が返納されました。また、会場には各年の卒業アルバムなどが展示され、卒業生らが懐かしい写真の数々に見入っていました。

「ふるさと浦河」を東京都内でPR

東京浦河会が北海道産直フェアに出店

10月3日～5日、東京都の代々木公園で開催された「北海道産直フェア」に、東京浦河会の会員約10人が協力し、出店を行いました。

参加が6回目となる今回も、浦河産のいか、いくら、昆布などの海産物を販売。台風の影響もあり、客足が心配されましたが、盛況のうちに終了しました。

また、観光パンフレット300部を配布し、ふるさと浦河町の魅力を来場者にPRしました。



浦河の味覚は首都圏でも大人気でした

平成26年度東京浦河会総会
10月25日、東京都内のホテルで会員61人が出席し、東京浦河会総会が行われました。

今回の総会には、池田町長も来賓として出席し、浦河の近況を報告していました。また、役員改選が行われ、会長が松田宝雄さんから中井保郎さんになりました。

総会後に行われた懇親会では、浦河町PR映像を鑑賞しながらのふるさとの話題や、浦河の特産品などが当たる抽選会で大いに盛り上がり、終始笑顔の絶えない会となりました。



ふるさとの話に花が咲く会員の皆さん